

平成28年度第3回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：平成28年6月27日（月）13時00分～14時30分

場所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	半藤 英明
副学長	津曲 隆
事務局長	仁木 徳子
文学部長	砂野 幸稔
環境共生学部長	松添 直隆
総合管理学部長	黄 在南
地域連携・研究推進センター長	堤 裕昭
学術情報メディアセンター長	村尾 治彦
ITマネジメント研究科長	宮園 博光
熊本日日新聞社新聞博物館企画委員	平野 有益
崇城大学教授・九州大学名誉教授	山田 耕路
熊本県公立高等学校長会長	川上 修治

事務局：本田事務局次長、多田隈教務入試課長、前田総務課長、花村企画調整室長、同室松本主事、福島地域連携・研究推進センター事務長、安達学術情報メディアセンター事務長、教務入試課築地班長、同課松本参事

1 開会（進行：本田次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：半藤学長）

（1）審議事項

① 客員教授の選考について

事務局教務入試課から、資料1に基づき、客員教授制度の概要の説明の後、候補者について「渡辺満利子氏は本学出身者で公衆栄養学等の分野に関して著名な研究者であり、昭和女子大学において、特筆すべき教育・研究の業績をあげられている。本学教育研究会議委員在任中も適時的確な助言等をいただいております。氏の講演・講義を聞く機会を得られることは本学学生への教育にとって大きなプラスになると考えられ、本学客員教授にふさわしい人物である。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 名誉教授の称号授与について

事務局総務課から、資料2に基づき、「本年度の名誉教授称号の授与については、『熊本県立大学名誉教授称号授与規程』及び『熊本県立大学名誉教授称号授与に関する申し合わせ』の規定に基づき、元学長古賀実氏、元文学部教授三木悦三氏、元環境共生学部教授福島英生氏、元総合管理学部教授石橋敏郎氏、税所幹幸氏、明石照久氏の6名が該当している。規程において、教育研究会議の選考を

経て授与することになっている。」との説明があった。

続いて、各学部長から資料 2-2 に基づき、各候補者の推薦が行われた。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 教員採用に係る枠取りについて

ア) 都市計画学

事務局総務課から、資料 3 に基づき、「環境共生学部における都市計画学を専門分野とする准教授または講師の枠取りで、平成 29 年 4 月 1 日の採用を予定している。」との説明があった。

続いて環境共生学部長から、「退職教員補充のための 1 名分の枠取りである。『都市計画学』は居住空間分野、環境調整・設備分野、構造・材料分野、農山村・都市計画分野から構成されており、このうち農山村・都市計画分野では人口減少社会の到来や、平成 28 年熊本地震を踏まえた今後の都市のあり方について、教育・研究することが非常に重要な課題であり、社会的な要請もある。また、建築士の受験資格取得カリキュラムにおける基幹的な科目であり、講義と実習を継続するため、担当教員を速やかに補充したい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 学長選考会議委員の選出について

事務局企画調整室から、資料 4 に基づき「学長選考会議の委員の任期が平成 28 年 3 月末で満了したため、定款に基づき、経営会議及び教育研究会議から 3 名ずつ委員を選出する必要がある。当会議の審議事項は、学長の選考、解任、任期に関するものの他、学長の選考等に関し必要な事項である。平成 22 年から平成 24 年までの間は委員選出がされていないが、学長選考会議は必要に応じ審議を行うことができる常設の機関であるべきことから、今回選出についてご審議いただきたい。任期は平成 30 年 3 月 31 日までとなっている。」との説明があった。

続いて半藤議長から、これまでの選出に倣い、外部委員、各学部長、研究科長及びセンター長から各 1 名選出とし、外部委員の平野委員、環境共生学部長の松添委員、アドミニストレーション研究科長の宮園委員の 3 名を委員とする案が出され、審議の結果、案のとおり承認した。

⑤ 平成 27 年度業務実績に係る自己点検・評価及び平成 27 年度業務実績報告書について

事務局企画調整室から、資料 5 に基づき、「業務実績に係る自己点検・評価のスケジュールは、教育研究会議審議後、経営会議、理事会での審議を経て、6 月末までにホームページで公表を行う。業務実績報告書については、理事会での審議を経て、6 月末までに熊本県の法人評価委員会へ提出、その後同委員会で評価され、評価結果については 9 月に知事が議会へ報告する。自己評価の概要は、64 の取組項目中、A（計画を十分実施）評価が 62 項目、B（計画をおおむね実施）評価が 1 項目、C（計画を下回っている）評価が 1 項目であった。」との説明があった。続いて「全体的な状況」及び「項目別の状況」の B、C 評価の項目について、ま

た、「平成 26 年度業務実績評価書において課題とされている事項への平成 27 年度対応」について説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑥ 平成 28 年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料 6 に基づき、「後学期から採用が決定していた非常勤講師が辞退したため、新たな非常勤講師の採用について審議をお願いしたい。また、常勤教員の休職に伴い、緊急を要したため、平成 28 年 6 月 2 日付けで非常勤講師の採用を行ったので報告する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 熊本県立大学未来基金の平成 27 年度収支状況について

事務局企画調整室から、資料 7 に基づき「平成 27 年度熊本県立大学未来基金収支状況について、収入の部では、寄附金で 880 万円余。寄附総額は 9,900 万円余。また、同窓会紫苑会及び西部電気工業㈱からの寄附金申出残額を含んだ総額は 1 億 2,700 万円余である。また、事業の実施状況では、修学支援の奨学金（西部電気工業奨学金、同窓会紫苑会）及び海外留学支援の奨学金（短期派遣留学生支援奨学金、小辻梅子奨学金）の給付並びに国際シンポジウム開催経費の一部に活用し、事業費と管理費の合計で 830 万円余を支出。収支残については、一般寄附金が 4,000 万円余。特定目的寄附金も合わせて 6,300 万円余であった。これを、今後も奨学金の給付、国際シンポジウムなどに活用する予定。」との報告があった。

② 第 30 回管理栄養士国家試験結果について

事務局教務入試課から、資料 8 に基づき「第 30 回管理栄養士国家試験については、平成 28 年 3 月 20 日に実施され、5 月 10 日に合格発表があった。本学の試験結果は受験者 41 名中、34 名が合格し、新卒合格率は 82.9%であった。全国の新卒合格率は 85.1%であった。」との報告があった。

続いて、環境共生学部長から、「全国の合格率及び本学の目標である 90%を達成できなかった。平成 24 年度の合格率が低かったことから平成 25 年度から管理栄養士国家試験対策委員会を設置し対策を行っているところ。今年度更に気を引き締めて引き続き試験対策に取り組んでいく。」との報告があった。

(3) その他

4 その他

次回日程 平成 28 年度第 4 回 7 月 19 日（火）午前 10 時～本部棟 2 階大会議室

5 閉会